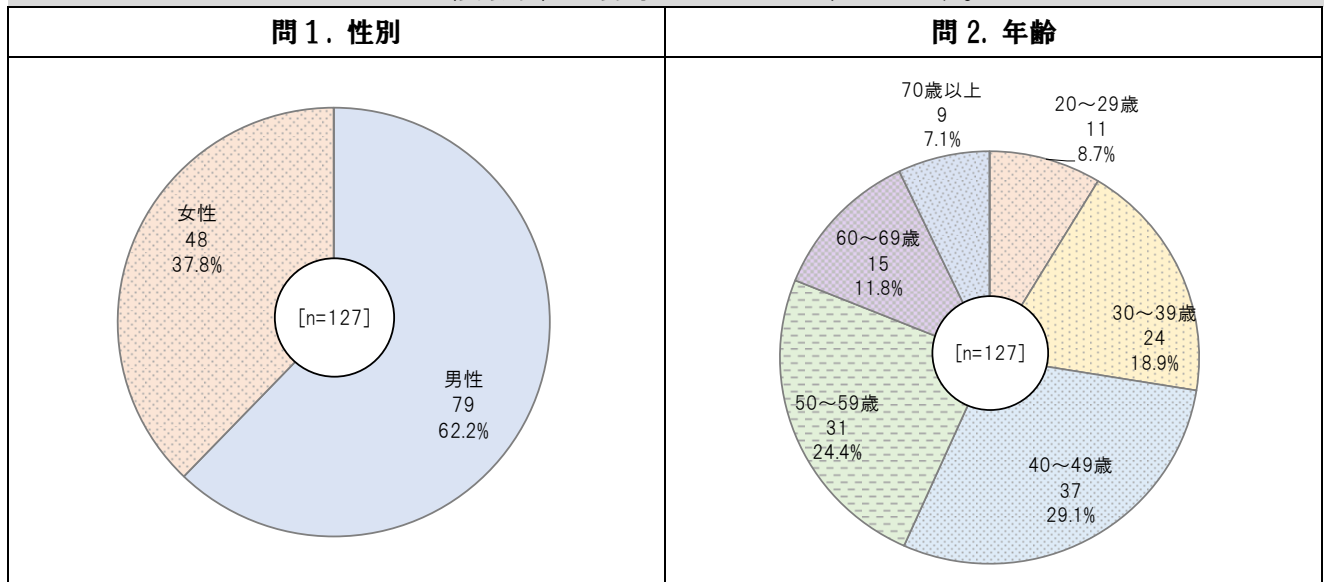


まちの「将来像」に関する市民アンケート調査 報告書

令和 2 年 6 月
益田市

調査目的	将来に残したいことや益田市が目指すべき姿を聞き、第 6 次総合振興計画策定の将来像検討資料とするために実施。 (まちの「将来像」に関する市民ワークショップを開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ワークショップを中止し、代替としてアンケートを実施。)	
調査対象	各種関係団体、市民	
調査方法	郵送配布・回収、インターネットによる回答	
調査期間	令和 2 年(2020 年)6 月 12 日～令和 2 年(2020 年)6 月 26 日	
回答数	郵送配布数:470 票 郵送回収数:77 票、インターネット回答数:50 票	
問	設問	ページ
1	あなたの性別について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	1
2	あなたの年齢について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。	1
3	益田市において大事にしたい良いところ(もの)、未来に残したい良いところ(もの)をお答えください。また、10 年後の益田市はどんなまちになって欲しいと考えますか。さらに、その思い描いた益田市になる(実現する)ためにご自身ができることはありますか。以下の①～⑤の各分野について、あなたのお考えを一言ずつ記入してください。	-
①	人柄・地域の助け合い	1
②	しごと・産業	7
③	医療・福祉・子育て・教育	12
④	自然・環境・歴史	17
⑤	まちづくり・都市基盤	17
4	10 年後の益田市の将来像(将来こうなってほしいまちの姿)について一言で表すとしたらどんな言葉が良いと思いますか。キャッチフレーズを記入してください。	23

あなた（回答者）ご自身についておたずねします。



益田市の将来像についてお伺いします

※以降、主な意見のみを抽出して掲載しています。

問 3 益田市の将来像

① 人柄・地域の助け合い

項目	年齢	回答内容
1. 大事にしたい 良いところ（も の）、未来に残した い良いところ（も の）	20 歳未満	✓ —
	20～29 歳	✓ 地域で協力して草刈などの地域のイベントを行っているところ ✓ おせっかいなぐらいあたたかい人が多いところ ✓ 仕事以外も充実していて、いきいきしている人が多いところ ✓ おすそ分け文化が残る、人情味あふれる人が多いこと
	30～39 歳	✓ 顔見知りでなくても「あいさつ」が自然にできること ✓ 高齢になっても住民として働き続けている ✓ 地域の行事、協同作業など助け合い精神が守られている ✓ 温かくて優しい人が多いところ。思いやりのある人が多いところ ✓ つながろう、つながろうとしている ✓ 地域でおすそ分けの文化や助け合いがあること ✓ 「子どものために」という意識の高いところ ✓ 市外からの転入者を受け入れ、温かく接することができる方が多いところ ✓ 少子高齢化が進む中、地域住民の助け合いで比較的地域行事が維持されている ✓ 益田市、地域を愛する気持ちが大きいところ ✓ 特に田舎に行けば行く程、その想いの強い傾向がある様に感じます ✓ 文化・芸能活動への許容性 ✓ 地域のつながりを大事にしているところ ✓ 小学校の登下校の見守り ✓ 大人と学生をつなぐ、「カタリバ」などの取り組み ✓ 地域毎のイベントが多いところ(夏祭りや花火大会など) ✓ 比較的、福祉関係が充実しているところ ✓ 未来の子どもたちのことを考えながら展開されている地域活動があること
	40～49 歳	✓ 島根県益田市に生まれ育った人たちやご縁のある人たちが、共に思いやりをもって人を大事にする人が多いところ。そして自然の恵み多きところ ✓ 目と目で通じ合うではないが、本音で話し正直に相手と話せる人がある。それを大事にしたい

		✓ 人懐っこく、気軽に声を掛け合える人が多いところ ✓ お互いが気持ちよくあいさつができる ✓ 繋がりあって、子どもらを育てようとする近隣の助け合いがあるところ ✓ 子供が住みやすい地域 ✓ 温かく人情味のある人が多いところ ✓それほど閉鎖的でもない ✓ お年寄りに優しい ✓ 他人に興味のある 無関心でない田舎 ✓ どこよりも益田市の人は、他人のことを思いやる人が多い。Uターンなどで来られた人を受入れる人間関係ができる環境にある ✓ 親切な人が多いところ ✓ 草刈り等、地域行事へ参加される人が多い ✓ 適度なおせっかい ✓ 高齢者の活動が盛んである(地元での行事や子ども見守りは高齢者の方々が担っている)
	50～59 歳	✓ 普段からお互いを気にかけてところ(ご近所)祭りや地域行事を何とか残そうと努力する姿勢 ✓ 益田の人の人柄の良さ、そして各地域でのつながりと他地域(横とのつながり) ✓ 適度な地域との距離感(個人主義すぎず、しがらみもない) ✓ 温かい人情味のある人が多いところと思いやりのある人 ✓ 他人を思いやる古き良き人間関係 ✓ 初対面の方については、少々人見知りですが、慣れてくるととても優しく接しているところ ✓ あいさつのできる人がいること(都会に比べ) ✓ 住民がつながっている地域(子供からお年寄りまで集うところ) ✓ 20 地区の特色を出したまちづくり ✓ 慎重な人柄 ✓ 地域の見守り隊、環境ボランティアなど、地域での支援体制
	60～69 歳	✓ 治安が良い ✓ 自然の中での子育て ✓ 人情味があり互いが気軽に話せるところ ✓ 良い意味でのお節介。ご近所付き合いが豊か ✓ 協力し合って、皆で楽しく住める地域にしたいと思う心 ✓ 隣、近所、通学路、職場にあふれるあいさつ(おはよう、こんにちは、帰りました！) ✓ 地域や近所づきあいの中で助け合いの精神が残っているところ ✓ 優しい人が多い、良い意味での団結力がある ✓ 人が温かいところ(子ども達は見ているので) ✓ 誰かの役に立ちたい、人のお役に立てるために自分ができることをみつける姿 ✓ 素直で素朴な人間性
	70 歳以上	✓ 歴史香る町並みを、きれいな街 ✓ 誰にでも思いやりの心をもって人情深いところ ✓ 私は U ターン者ですが、適度の距離感がありがたい ✓ つながりがつよく、助け協力し合う心をもっている ✓ 自然豊かなところ 地域の強いつながり 隣近所との昔ながらの良き関係 ✓ 人情味のある地域の助け合いのしくみ
2. 10 年後の益田市の姿 (どんなまちになってほしいか)	20 歳未満	✓ —
	20～29 歳	✓ まわりの人の考えを尊重し、助け合いながら暮らしていること ✓ 人口はへっているが、残った人でのんびりすごしていそう ✓ 都会から住みやすい益田への移住により人口増 ✓ 運転の出来ない高齢者等を支える仕組みができていること ✓ コミュニケーションがしやすい場所 ✓ 子供が成長し、帰ってきたいと思えるようなまち

		✓ 多様性が尊重されるまち(多様なライフスタイルが許される) ✓ 豊かな自然と一人ひとりが生きがいを持って暮らせるまち ✓ 益田で暮らすことに誇りをもっている人が多く暮らしていること ✓ 他人と関わりながら生活すること ✓ 「地元で暮らしたい」と考える学生・子どもたちが、地元での就職・生活を選択できるまち
	30～39 歳	✓ 益田市以外の人も住みたくなるコミュニティがあること ✓ 子供から大人まで楽しめる場所。人口増加、都市化、娯楽施設(パチンコ以外)充実 ✓ 自助・失敗の意識を醸成し、若者が積極的に発言し、行動し、まちの発展に寄与している姿 ✓ 多様性をうけいれるまち ✓ まわりの人の考えを尊重し、助け合いながら暮らしていることと活気あるまちに ✓ 若者が出ていかない為に魅力のある町にしたい ✓ 少子高齢化の流れは変わることはないので、行事等も現状維持ではなく、規模縮小・廃止等により無理せず出来ることを続ける ✓ 日本一の挨拶のまち ✓ 進学などで市外、県外へ出た若い世代がまたこのまちに戻って暮らしたいと思ってもらえるまち ✓ 地域の大人が、子ども達を見守り、今よりもっと安全安心に暮らしていける益田市になってほしい ✓ 地域と人との繋がりが深く持てる様な自治組織になってほしいです ✓ 行政と民間の距離ももう少し近くなっていれば良いと思います ✓ 現状、閉鎖的なところがあると思いますので、これが解消されるとよいと思います ✓ 多世代に渡って、つながりや絆を深めるまちになってほしい ✓ 医療・福祉の面で、市内のどこに住んでいても安心して暮らせること。ICTを活用して、中山間地域の医療を支えられないかと思う ✓ 子どもたちが、地域の大人たちに守られながら、ノビノビと暮らしていること ✓ 子どもたちの活動に地域が関わる仕組みを継続させることで、子どもから大人まで元気に暮らしていること ✓ 専門医の充実など医療体制が行き届き、住むにあたって不安のないまち ✓ 子供の数が減っているが少人数学校の子供たちにもいろんな同世代の子供たちと交流する場が増えてほしい ✓ 医療の分野が、なかなか充実しない現状がある。益田市全体で連携をとり、充実する必要があると思う ✓ 地域への愛着と誇りを持つ子どもが多いまち
	40～49 歳	✓ 地域間格差のないまち ✓ 安全、安心に暮せること ✓ 人と人が互いに優しさ思いやりのある行動や社会活動ができるように・・・ ✓ 地域(自治会単位)での住民が積極的に行事に参加している ✓ 若者から高齢者まで大切にするまち ✓ 地域でものごとの殆どが解決できるまちづくり ✓ 気軽に声かけ出来るような人づきあい ✓ 市、全体の活気ある町 ✓ 多様性に対応した地域のコミュニティが構築でき、助け合いながら暮らせる ✓ 子どもから高齢者まで、全ての世代がまちづくりに参画しているまち ✓ 自助共助の意識が高いまち ✓ 地域の人との関わりが継続していること(隣に住む人がどんな人かわからないような地域ではないこと。昔ながらの地域性の継続) ✓ 変化を受け入れる

		✓ 地域の人の顔が分かるまち ✓ 生産性が低くても社会に貢献できる、人に頼りにされる場がある ✓ 子育てにやさしいまち(医療費補助の充実) ✓ 先進医療・病院の充実 ✓ 世代間を超えた交流があるまち ✓ 若者の流出を防いで未来を夢みられる町 ✓ 自分の子どもを働かせたいと思えるような町
	50～59 歳	✓ 子どもたちが地域を支える ✓ お互いの足を引っ張らず前向きに「何とかなるさ」と明るく声をかけ合う町 ✓ みんなが元気に挨拶を交し合い、いつも明るいまち ✓ 益田駅周辺がもっと活気になってほしい ✓ 地域に丸投げではない行政 ✓ 益田市を想い、益田市と関係のある人全てを思い合って暮らせるまち ✓ 20-50代の若者に選ばれる町 ✓ 若い世代が一度益田を出ても、戻ってくる環境が整っている ✓ 世代問わず人がつながっているまち ✓ 自分達がこの町を守り、育てるという気持ちを持っていきたい ✓ お互いが声を掛け合い、なごやかな雰囲気 ✓ Iターンの人、外国人が地域に溶け込み、いきいきと活躍できる町 ✓ 若者が地域へ多くの参画を果たしている町 ✓ 互いの顔が分かり、支え合って安心して過ごせるまちに ✓ 県内はもちろんのこと、他県や他国との交流を積極的にしているまち ✓ 仕事ではなく、一人一人が自分の好きなこと・趣味をやりながら、 ✓ お互いに助け合い、神様と共に楽しみ喜び、神様を讃美しながら神様の愛に感謝しながら生きていっている町 ✓ 今と変わらないまち ✓ 集落が維持されていること。(消滅していないこと) ✓ 人口減少があっても今の生活環境が維持できているまち ✓ 現在の人口水準を維持したまち ✓ 程よい距離感を持ちながら、心配しあえる人間関係を持てる益田市 ✓ 誰にとっても、不自由しない生活環境 ✓ 若い人たちが、頑張ろうと思える益田市 ✓ 高齢者や障がい者が、社会の一員として、役割を果たすことができる益田市 ✓ 子育て世代が大切にされ、安心して子育てができるまち ✓ 多くの元気な高齢者の活躍するまち ✓ 親を大事にする ✓ 子供の教育のためにも少なくとも、学校の登下校の道にバーやホテルや不衛生なものを設置しない ✓ 子供の為に環境を整える。タバコは作らない。売らない町 ✓ 世代ごとに活躍できる場があること
	60～69 歳	✓ まわりの人に声かけをし、助け合って暮らしているところ ✓ 体の状態に応じた施設や声かけがある ✓ 自ら進んで自治会活動その他のボランティア的な活動が見られるように！ ✓ 若い世代が古い世代と共に助け合い互いに尊重できる暮らし ✓ 外部の人をどんどん受け入れ、交流人口をふやすこと ✓ 能動的な人間が多く、全員が自ら行動し、自立しているまち ✓ 住む所で向こう三軒、両隣をまずは仲良くしてゆきたい ✓ いつまでも変わらず「あいさつ」のあるマチに。さらに深化し、思いやり、気づかいの心あふれるマチ ✓ 子供からお年寄りまで、お互い助け合いながら安心して暮らしている町 ✓ 小さなコミュニティを大切にできるまち

		✓ 人を大切にでき、思いやりのある社会 ✓ 安心して暮らせる街 ✓ 老人の国 ✓ 犯罪のない市 ✓ 思いやりのある市 ✓ 子供たちが増えていってほしい ✓ 子供を元気に育てられる街 ✓ 怪我のないみんなが元気で暮らせる地域
	70 歳以上	✓ 誰もが安心して暮らせる町、快適で便利な町 ✓ 若者、高齢者が共存できる姿 ✓ 地域自治組織に基づく「人づくり」「地域づくり」の定着 ✓ 積極的な社会参加（人委せでなく、自分から） ✓ 町中ですれちがってもお互いに声かけや挨拶ができること ✓ 近隣の住民と関わりを持ち、地域で子どもを育てる環境 ✓ 人権を尊重し、ほどほどの距離感を保ちながら支えあい暮らす ✓ 若者やUターン者が暮らしやすいまち。互助に縛れない自然体で助け合う
3. ご自身ができること	✓ 地域の歴史を大切に、次世代へ継げる ✓ 自分ができる範囲でできるボランティアに参加する ✓ スポーツの推進 ✓ 山本市長さんを応援する ✓ 地域行事などにはできる限り参加し、役員なども必要であれば、引き受ける ✓ 引き続き自治会、公民館、自治組織の活動に関与すること ✓ 自らが元気であること、そして周りに関心を持つこと ✓ Uターン者の援助する ✓ 自分の出来ることを地域や多くの人々に還元し、一緒に楽しみたい ✓ 今までお世話になった地域への恩返し的な感じ(定年後) ✓ まずは家族への思いやりと地域・社会へと広く人を大切にしていくこと ✓ 地域に対し無理の無い程度にお金を使うこと ✓ 自治会のお世話(役員)。自社のお世話(総代)。見守り・心掛け、独居宅の●お手伝い(ゴミ出し etc) ✓ 身近で困っている人への手助けや経験からのアドバイス ✓ 益田市やひとを想い、互いに助け合って”行動”すること ✓ 少しずつの協力し合いを呼びかけている ✓ あかるい挨拶をし、人々と話をしていきたい ✓ 子どもたちにとってすごしやすい環境をつくる(仕事でもプライベートでも) ✓ 益田で想いをもって暮らしている人となつながら。魅力を発信する ✓ 楽しい事を作って参加して、きれいな町並みを作っていきたい ✓ 地域の行事やボランティア活動に積極的に参加すると自分の手が届く範囲内をきれいにする ✓ 「楽しい」を増やし、周りをまきこむ ✓ 市外からの転入者、外国人に対し、温かく接する ✓ 様々な整備ができるよう、事業の発展を通じて税を納めることと適切に税金を使ってくれるような人や監視できる人を選挙を通じて選んでいきたい ✓ 夜に不用な外出をしない ✓ 日頃から自分の身は自分で守り、近所で支援がいる人がいれば、気にかけていること ✓ ウォーキングによるまち探検をし、地域を知る ✓ 声かけに協力して行く ✓ これらは自治会活動で行っており、住民の活動参加意識の醸成 ✓ まちづくりに関するイベント等への参加 ✓ 地域づくりの一員としての協力が気持ちよくできる組織(体制)をつづけること ✓ 普段からの交通ルールやマナーを意識して優良ドライバーが自分もふくめてたくさんみんなとなれるようにする ✓ 地域のモノを使用、購入し税金を市に納める ✓ 町づくりプロジェクトがあれば、参画してみたい ✓ 子どもや障がい者、お年寄りひとぼっちの人の”居場所”づくりのお手伝い ✓ 地域の良い所を若者(子ども)と共有しかつ大切さを感じさせる	

	✓ 障がい者施設で仕事するなかで、個々の素直さや人としての尊げんの大切さやそのふれあって知る”素直さ”をより多くの人へ伝えていく。そのような社会活動、地域交流の場への参加※現在はコロナのことで多あり困難 ✓ 住んでいる地域の環境を守り、家庭菜園等を通じての近所づき合い ✓ 社会福祉法人の束ね役。障がい者の支援・ボランティア ✓ 常にコミュニケーションをとることで、お互い(社員)働きやすい職場作りに努める ✓ 地域づくり活動の活性化を図るために全世代に渡っての活動の活性化の構築:構想案の計画立案 ✓ 住民同士の交流を大切にする。自らの生きがいづくり ✓ 自助は大切だが、それが叶わなくなった時の対策の検討 ✓ 地域課題が解決出来る様に努力 ✓ 家族以外の地域の人々にも目を向ける。適度な距離感で、気をかける。 ✓ 世代・年齢関係なく、様々なひととコミュニケーションをとること ✓ 登下校中の小中学生の見守りもかねたあいさつ ✓ 人ひとりの活動が大切なことを呼びかける ✓ 地域の子どもや高齢者に関心を持ち続けること ✓ 自然を利用したスポーツ施設イベント ✓ 地域について様々なことを学ぶ
--	--

② しごと・産業

項目	年齢	回等内容
1. 大事にしたい 良いところ（も の）、未来に残した い良いところ（も の）	20 歳未満	✓ —
	20～29 歳	✓ 魅力的な社会教育のしごと ✓ 決して大きい企業ではないが、全国で高いシェア率を誇っている会社が多いところ ✓ 余暇時間があること ✓ 豊かな農林水産業、スーパーで地元産のものが売っている ✓ ライフキャリアを体現できる。ゆとりある働き方 ✓ 豊かな自然を活かした農林水産業 ✓ 誇り、思いをもっている人たちが多いところ ✓ 幅広い世代が活躍している
	30～39 歳	✓ 若者の雇用創出 ✓ 地域の基幹産業の建設業（災害等が発生した場合の担い手確保） ✓ 山・海・川などの自然があり、食材も豊富にあることから、これらを活かした商品開発などの産業を発展させる ✓ 益田市の地形や気候を生かした豊かな農林水産業 ✓ 起業家が多い ✓ 石見空港、農業、6次化産系 ✓ 地産地消 ✓ 益田独自の特産物 ✓ 農産品は良い物が多いので、今後も農業に力を入れていってほしい ✓ 自分の仕事をまちの為に活かし、支援していけるところ ✓ 豊かな自然を生かした産業
	40～49 歳	✓ 益田市の地形や気候を生かした豊かな農林水産業が発達しているところ。食べ物がおいしい ✓ 石見臨空ファクトリーパーク、農業（メロン、ぶどう、トマト等） ✓ 益田の特産品などは、全国的にみても魅力的なものが多い。より力を入れて全国に宣伝し、有名になってほしい ✓ 地元企業、地産、多種多様な益田ブランド ✓ ICT、IoT を活用した産業 ✓ 豊かな自然を活かした一次産業と駅前の飲み屋街 ✓ せっかく作った工業団地 ✓ 若い人たちが、こだわりを持ちながら、益田市を活性化しようとしているところ ✓ 益田市はおいしい野菜や加工食品等がたくさんあります。生産者に協力しながら未来に残していきたい ✓ わさび、ゆず、ぶどう、メロンなどが特産でもっとブランド化して有名になってほしい ✓ 高津川（匹見川）を生かした観光 ✓ 益田市の農家の方々がこの町・天気と共に果物や野菜を育てられており、その地菜を生かした食材をお店や加工食品にして地域の方へ提供されていること ✓ 昔ながらの自然をいかした産業（高津川、森林、文化芸術） ✓ 先人達が共に築いてこられた基幹産業 ✓ 県外企業を誘致し、少しずつそういう会社が増えている ✓ 地元の良いものを生かした産業、外へいかに売り込むか
	50～59 歳	✓ 規模は小さくても、利益よりも仕事内容の質を重視している企業があること ✓ 地元企業の存続 ✓ 無添加物や無農薬など悪いものは使わない方向で動き出している方がたがだんだん増えていっている気がして嬉しいです ✓ 悪は撤廃して、お一人お一人が大切にしたい、良いものと感じるもの

		✓ 伝統産業 ✓ メロン、ゆず、わさびなどなど地域ごとに特色ある農業が営まれているところ ✓ 県外に、益田市出身の企業家がたくさんいるところ ✓ 石見神楽など地域の伝統行事 ✓ 益田の特産品と言える農産物の生産が維持できていること ✓ 自然の中での仕事 ✓ 特産物 柚、メロン ✓ 海山川のバランス良い自然。特に森林資源によって発展した町なので、木材産業は大事にする ✓ 農林業、製造業(臨空 FP) ✓ 豊かな自然(かなり山林、里山ともに荒廃していますが・・・) ✓ 他都市に誇れる歴史ある企業の維持(造り酒屋) ✓ 道路網の整備を早急に行い、物流環境を整える必要がある ✓ 若者が働きやすい場所、高齢になっても働ける場所であってほしい ✓ 益田市の発展のため努力する企業が多いところ
	60～69 歳	✓ 地産地消を生かした特産物(農林水産物)生かせるところ ✓ 何であれ、意欲をもって仕事にはげんでる人が少数でもおられること ✓ 自然環境を活かした生業 ✓ 農業、林業 ✓ 自然の緑、小鳥のさえずりにいやされる花、野菜を自分でも育てたいと思う ✓ 全ての物が手に入る豊かな土壌 ✓ IT をもっと取り入れ、若者の仕事(職場)を増やしてほしい ✓ 過疎地の店！！残ってる様に！！
	70 歳以上	✓ 伝統ある企業を大切に、いつまでも中小企業が生かされること ✓ 田畑の健全な姿 ✓ 地域のよさを生かした産業づくり ✓ 豊かな自然が十分に生かされる産業及び人 ✓ 四季の移り変わりを生かした観光スポットの掘りおこしと開パイでの農作物の大量育成 ✓ 水田耕作、農地開発地の農業が守られていること ✓ (未来)地域就職者がたくさんいる企業づくり ✓ 安心、安全な生活ができる産業や仕事があるところ
2. 10 年後の益田市の姿 (どんなまちになってほしいか)	20 歳未満	✓ —
	20～29 歳	✓ 人それぞれにあった働きができる ✓ 1つの仕事だけをするのではなく、週3は会社、週2は農業のようにパラレルワークができる ✓ 仕事だけじゃない部分で生きがいを感じられる ✓ はたらき方が自由に選択できる、生きがいを感じられる働き方がある ✓ 仕事とそれ以外の時間を豊かにできる町 ✓ 多様な生き方が受け入れられている ✓ 益田市で働くことに誇りをもっている人たちがもっと増えていること ✓ マイノリティの方も働きやすい
	30～39 歳	✓ 官民一体の益田ブランドの確立 ✓ 空港と山陰道を生かした他地域と協力した仕事が進んでほしい ✓ 経済的にも豊かで、雇用に不便もせず、心身ともに豊かで暮らしていける益田市の姿になってほしい。また、企業各々が、独自で取り組むのではなく益田市全体としてプロジェクトを立ち上げ取り組むべきと考えます ✓ 若者のUターン者に対する支援へ斡旋などがきちんと行き渡っている社会 ✓ 農家が稼げるようになること ✓ 多種多様な仕事や働き方が選択できるまち、益田にいても世界

		と仕事ができるような ✓ 自然だけではなく、歴史も活かすまち。産業の六次化を進める。また、これまで以上に地域の資源を有効に活用することで、益田市にしかできないまちづくりを進めるまち ✓ 目玉となる特産品の開発や販路拡大を図り、益田市の名前が知れ渡るまちになってほしい ✓ 農産物生産に担い手が確保できている ✓ 若者がより定着するよう農林水産業を中心としながらも第三次産業、特にIT系の起業が必要 ✓ 一つの柱となる産業が産まれてほしい ✓ 地域内経済循環が良くなっている。経済発展しているまちに ✓ 移住者の受け入れ体制の充実 補助、特典等 ✓ 人口が増えると同じに働き口が多くある事 ✓ 高齢者が増えてくるので、定年後も働けるしくみが出来ている ✓ 自己の利益だけでなく、その利益が益田市・ひとの利益にもつなげられるまち ✓ 空になっている土地を活用して、町が豊かになる ✓ もう少し外(市外)にも目を向けなきゃいけない ✓ ICT 活用し、人が少なくなくても維持できる ✓ 若者が定住出来る働き場所や魅力のある町
	40～49 歳	✓ 定年年齢の引き上げ ✓ とにかく、若者が働ける企業を都会の企業と提携して益田に定住できる企業が増える ✓ 美味しい日本酒の酒蔵など、雇用の増える産業が発達している ✓ 地元の人が当たり前と思っている価値が域外に広まる ✓ 収入が多い企業が増えれば若者の益田離れはなくなる ✓ ファクトリーパーク、萩・石見空港を活用した、産業の発展 ✓ 農林水産業の持続発展 ✓ チャレンジする人がチャンスを掴めるまち ✓ 今の子供達が将来益田に戻れるよう雇用先の確保をしてほしい(増やしてほしい) ✓ 若者から高齢者まで働きやすい環境をつくっていただきたい ✓ 障がいをもつ、共に生きている方と私たちが社会の中で共に支え合って声かけ合える町となっていたきたい ✓ 農村水産業が専業、兼業含め収益が上がる事 ✓ 地産を有効に活用したオリジナルな産業の発達 ✓ 若い世代が活躍できているまちになってほしい ✓ 農業物等の地域資源を活用するなどし、六次産業化や産業連携などしている姿 ✓ 在宅ワークなどで都会から移住してくる人が増えてくれるといいな ✓ 益田市地形や気候の良いところを生かした産業が生まれ、若者の働く場が増えること ✓ 自給自足の生活様式(食料、エネルギー) ✓ 益田市の特産物や事業をいかし、島根県を代表するブランド力のあるまち＊IU ターン者が集まる魅力あるまち ✓ 市外、県外、国外との取引を多くの職種で当たり前に行っているまち
	50～59 歳	✓ 女性や障がい者、高齢者などが働きやすい環境づくりはもとより、多くの若者がUターンできよう若者が起業しやすい町となしてほしい ✓ 観光立市が体感できる観光客で賑わう町 ✓ 利益優先ではなく、地域に根付いた持続可能な企業がたくさんあること ✓ 高齢者やお体の不自由な方がた(どなたでも)が例えば買い物に行きたい時、行きたい所に必要な時に電話をすればいつでもお店に連れていってくれる車がある町 ✓ 悪口を言わないいいじめがない町 ✓ 多面的な産業が存在するまち

		✓ 選択肢が多いこと ✓ 一次産業をする人が増える ✓ Uターンで若者が戻りたい(来たい)と思えるまち ✓ 様々な職種があり、若年層から高齢者まで働きやすい環境であること ✓ 自然を生かした観光地になり、仕事なども選べるようになること ✓ 益田市全体を家族と考え、市内だけで自給自足可能な農業が成り立つように ✓ 働き方や働く場所の選択肢が多く有り、住みやすい町 ✓ 若者が定住しやすい町。高齢者移動がしやすく、働く場が選択できる環境 ✓ 活気のある元気に働ける益田になってほしい。人がたくさん集まるまちになってほしい ✓ IT 技術活用等の波に乗り、地元企業が発展し、市民生活が豊かになること
	60～69 歳	✓ ちよつとでも身体を動かせる場所、働きやすい環境があれば良い ✓ 益田で暮らしたいと思う若者が充実した生活がおくれる ✓ 元ワークを通じた市外部から人の流入を促進すること ✓ 少し産業・仕事が選べない状況から抜け出ている事 ✓ 食品加工業の設立 ✓ すみきった空気の中でくらしたい。貧しい人も豊かな人もそれぞれが心のやさしい、きれいな心で ✓ 市自らが生産性に関わるそんな町 ✓ 命とくらしを支える医療介護分野の充実。安心した老後が過ごせる益田市 ✓ 心豊かな人が育つまち ✓ 都会だけでなく、地方でも働ける(生きがいを見つけられる仕事) ✓ 若者の仕事の出来る場が多くできて、定住できる町
	70 歳以上	✓ 一つ一つの企業が輝くこと、その為の施策を ✓ 高齢者が働ける環境 ✓ 様々な立場、世代、性別を越えて住みよい地域づくりを希望 ✓ 若者が働きたい、住みたい街づくり ✓ 山陰高速道を活用した物流の活性化による地場産業の定着と発展による雇用の創出 ✓ 米作以外の農業振興、IT 産業の誘致 ✓ 元気高齢者、女性、障がい者が役割をもって活躍できること ✓ 自然豊かな住環境に居ながら適度な先端技術と融合しているまち ✓ 活気のある農林水産業が盛んに
3. ご自身ができること		✓ 短時間労働やパート等今まで働いてきた知識を生かしたい ✓ 事業を大きくできるようがんばる ✓ 一次産業を 6 次産業へ変えること ✓ 企業誘致活動やまちづくり活動への参画 ✓ 新規ビジネス、雇用維持拡大、外貨を稼ぐ ✓ 今、林業の仕事をしています。社内に若い人も多く在籍しています。もっと PR していきたい ✓ 自分の職歴を生かした地域への恩返し ✓ 今就いている仕事を次の世代にうまく継承する ✓ 地産地消に協力 ✓ 今できる仕事をしっかりとこなす ✓ SDGs に基づく経営 ✓ 情報共有し、作業効率をあげる ✓ 様々な考え方が知識を取り入れ勉強する ✓ 自分がトライすることで、トライがあたり前な環境をつくっていく ✓ 仕事外でのつながりをつくる ✓ 様々な働き方を知り、周りの人に発信していく ✓ 自身がライフキャリアを体現した働き方を実践する ✓ 農業分野において、地域産業に密着しブランド力向上に貢献、多様性の推進

	✓ 年をとっても働ける体力づくりと環境が整っていればいい。益田の美味しいものを食べ続けたい ✓ 社内でのコミュニケーションを活性化させ、職場環境を改善する。と、福祉の仕事を一生懸命にやっていきたい ✓ 現在の仕事を頑張り、発展させる ✓ 行政、商工団体、企業と情報交換し、互いに協力、発展していくこと ✓ 地元の商業施設を頻繁に利用する
--	--

③ 医療・福祉・子育て・教育

項目	年齢	回等内容
1. 大事にしたい 良いところ（も の）、未来に残した い良いところ（も の）	20 歳未満	✓ —
	20～29 歳	✓ 社会教育に力を入れているところ ✓ 教育を学校任せにしないこと ✓ 子育てがしやすい ✓ 地域と子どもの交流が盛んで良好なコミュニケーションがとれている ✓ 住みやすい町。行ってみたいと思えるところになってほしい ✓ 地域の子育てについて、つろうて子育て協議会など、地域で子どもたちを育てるという機運があること
	30～39 歳	✓ 子育てには、支援が充分なところ ✓ 子供の見守り活動は素晴らしいと思います ✓ 自然と触れ合う機会が多い事 ✓ 家庭内からそして隣から1日1人でもいい。あいさつから始めてゆきたい ✓ 高齢者の見守り隊 ✓ 教育と社会教育双方が充実。大規模病院がある ✓ 子供が益田市の魅力を感じることに、官民一体となって熱心に取り組んでいるところ ✓ 社会教育課の教育に関する取り組みは本当に素晴らしいと思います。若干市民の方が危機感を持っていない事に不安を感じます ✓ 「ひとづくり」に力を入れているところ ✓ カタリバのような大人と子どもの関わりがあるところ ✓ 祖父母世代が近くにいる世帯が多いことはやはりいいことだと思います ✓ 地域が一体となって子どもたちの成長を育んでいるところ ✓ ウォーキングがしやすい ✓ 真面目なお人柄が多いと思うのでこのままか、落ちないで次元が上がって欲しい
	40～49 歳	✓ 高齢化に対応できる寄り合いやコミュニティの構築ができる可能性があること ✓ 病院・学校・保育園等施設が整っているところ ✓ 子供たち一人一人を大切に思う。思いやり。声かけ。笑顔で見守る。見守りたいと願う大人たちの優しさ ✓ 地域で高齢者の参加できる(家から引き出す)行事等が多い ✓ 地域全体で子ども達を見守る昔ながらの風土 ✓ (特に田舎ほど)お年寄りが生涯現役で元気であり、子ども達を地域の宝として見守っているところ ✓ ふるさとを大切に子どもたちへの取り組み ✓ 子どもの見守り、お年寄りと子どもたちとの交流(保育園、小学生) ✓ まち全体で小さなことから支援し、奉仕の心をもつところ ✓ デイサービスやホームがたくさんある ✓ 地域のコミュニケーションを大切にしているところ ✓ 子どもやお年寄り、弱者に対してやさしいまち ✓ 医療機関の充実 ✓ 元気なお年寄り ✓ 益田圏域は、地域医療に対する危機意識があり、いち早く市民団体と連携して対策に取り組んできた結果、医師確保などが進んでいる ✓ 家庭・学校・地域が一緒になって子どもの育ちを支えていること ✓ ゆとりのある教育環境 ✓ 市民を挙げての医療への協力 ✓ 若い世代との関わり
	50～59 歳	✓ 地域で安心して子育てができるよう、安全な町でいてほしい。子

		供に関心を持つこと ✓ 次世代を見すえてのかかりと実践の定着 ✓ 地域と学校の協働(特に高齢者によるボランティア) ✓ 親でもない人が子供を叱るところ ✓ まちや地域で子供の成長をサポートする ✓ 福祉・教育関連での地域全体の活動 ✓ 子どもの数が少ない分、自分の子、よその子関係なく見守れること ✓ 子どもが少なくても、子育てや教育に力を入れるところ ✓ 子どもたちに学業やいろいろな体験をさせ、選択肢を広げていづれは益田に貢献してほしい。 ✓ 子供が小さい頃、医療費や支援センターで遊ばせて頂いたり助かりました。ありがとうございました ✓ 子供は神様からの授かりもの、宝だという思い ✓ 通学路や独居老人などに人の目が届くこと ✓ 学校や保育園など、地域の住民とつながりながら子育てしているところ ✓ 小規模でも維持している教育環境 ✓ 人との関わりを大切にしている ✓ 医療・福祉・教育体制の維持 ✓ 市内医療機関・医師会が機能分担しており、支え合える関係づくりができています ✓ 医療 ✓ 高齢者に仕事がある
	60～69 歳	✓ みんなで子育てのできる環境、相談しやすい場所の確保 ✓ 少数ですが、子どもの見守り、高齢者の居場所づくりに動いておられる人があること ✓ 医師会病院、益田日赤を核とした地域医療体制 ✓ 小学生の登校見守り活動 ✓ 病院の数は減らさないで欲しい ✓ 地域にあるしくみの中で、福祉・教育活動等に協力しているところ ✓ 医療施設を残す事 ✓ 老後の介護をもっと良くしたい
	70 歳以上	✓ 子供から老人までやさしい対応、医療充実を ✓ 不安にならない医療体制がある。子育て支援充実 ✓ 益田市は子育て支援などが少ないように感じます。他の町・市などと差別化すればＩターン者も住みやすくなります ✓ 過保護にならない程度の見守り活動(子供、老人に対して) ✓ 若者の地元定着に向けた小学生、中学生、高校生を対象とした益田版カタリバの持続とライフキャリア教育の推進
2. 10 年後の益田市の姿 (どんなまちになってほしいか)	20 歳未満	✓ —
	20～29 歳	✓ 医療格差の無い地域 ✓ 子供が郷土愛を持つ ✓ 「益田の教育」を求めて、移住者がくる ✓ 益田の教育に魅力を感じて移住する人が増える ✓ 異世代交流が自然に行われていること ✓ 社会教育活動が熱心なまち ✓ 地域が活気づいている ✓ ライフキャリアを表現できるまち ✓ みんなが元気に楽しく暮らしていること ✓ 子育てをする若い世代からお年寄りまでが地域で関わりが持てること
	30～39 歳	✓ 安心して医療を受けることができるようになってほしい(病院や医者の数等充実させてほしい) ✓ 学費無償化 ✓ 学力の競争が活性化してほしい ✓ 年代を問わず、交流できる場所・イベントなどが増えていて欲しい

		✓ 若者が多く益田で働いている。お年寄りが過ごしやすい施設 ✓ 様々な年代がひとつになり、活き活きと一体感の持ったまち ✓ 不安なく子育てできるまち ✓ だれもが安全で安心して暮らせるまち ✓ 働きやすい環境＝医療・福祉・子育て・教育環境の充実 ✓ 一度県外に出た若者がどんどんこのまちに戻ってくる事 ✓ 多くの人たちが、仕事を通じて地域をよくという気持ちを持って働いていること
	40～49 歳	✓ 核家族化から各世代が住み合う大家族化へ(家や地域の中で人が育ち子どもが成長する姿、形) ✓ 島根は平均寿命も高いのでお年寄りが元気に暮らせる環境になってほしい ✓ 自然から心が穏やかに。人と人との近い交流の場での思いやりの行動やコミュニケーションをとる中で、益田市民であることの”和”と”支え合う心の有り方”が共通してつながれる関係づくり ✓ 子どもが特に社会に出る18までに多種多様な大人と出会う ✓ 高度な医療や福祉と教育が受けられるために大学病院や私立大学の建設 ✓ 老若男女、皆が元気でお互い助け合い、見守りながら暮らしている ✓ 医療が充実し、高齢者が安心して暮らせる。子どもが健やかに育つ環境が整っており、教育が保～高校まで連携している益田市 ✓ 心豊かに健やかに暮らせるまちとともにゆるやかな人口減少の推移になるよう願う ✓ 異年令間の関わりが当然にあり、地域の中で子供が育つこと ✓ 世代間の交流がある ✓ 山間部、町部関係なく医療サービスが受けられていること ✓ 若者が増えればおのずと、納税者も増える。家族が定着すると、益田人口も増える。老人一人を支えるのも、若者が増えたら楽になる ✓ 幼稚園や保育園と老人保健施設が同じ敷地にあり、交流が出来る ✓ 子どもが残って働ける ✓ 今よりも暮らしやすくなっていること ✓ 中山間地域の方が、安心して生活できること ✓ 地域内で完結できる医療・福祉体制 ✓ 地方の特色を活かした教育と教育水準の向上 ✓ それぞれ、お互いを尊重している間柄であること ✓ 地域の中で人が育つ環境 ✓ 誰もが働きやすい環境が整っていること ✓ 給料が全体的にアップして欲しい
	50～59 歳	✓ 高齢者が元気な街 ✓ 医療が発展している 今のように日赤しか主な入院施設がないように ✓ 都会に出ていくことが良い人生ではない。地元で暮らす心の豊かさを幸せと感じてほしい ✓ 各世代、時に若者が多く暮らす町 ✓ 自然の中で学ぶ子供たちの喜びの声にあふれたマチ。障がい者がくらしやすいバリアフリーのマチ。差別ないマチ ✓ 福祉の充実 ✓ 未来をつくる子どもたちが主役になれるまち ✓ 手厚い医療と介護ができていく福祉に強いまちになってほしい ✓ 益田をうば捨て山にしない！ ✓ 人の悪口を言う人がいないまち ✓ 成長した若者がリターンで帰ってくる受皿が豊富にあり、リターン者が多くなっていること ✓ どうか益田市に神様の大学を ✓ 子供は一生懸命勉強して大学は他県でそのまま他県で…なんか

		おかしいな…？と思いました。真の心情を持った真の学生が真の学びを以って、真の神様の世界にうみかえてくださる町 ✓ 今と変わらない姿 ✓ 子どもたちが益田を誇れるようになってほしい ✓ 市民全般に、福祉や教育のために行動する心の余裕があること ✓ いつまでもそれぞれの個人が目標をもっていること ✓ あらゆる年代の方が、健康で、地域の一員として、地域とのかかわりを持ちながら暮らしている ✓ 早期発見、早期治療 ✓ 若者が生き生きと働けるまち。チャレンジできるまち。チャレンジを支援するまち ✓ 高齢者などが多様な働き方が選択できるまち ✓ 益田市独自でというのは中々困難だが、働きやすい環境を整える必要はあると思います
	60～69 歳	✓ それぞれの立場をそれぞれがえらべること ✓ 子育てがしやすく若者が住みやすい ✓ 必要以上に通院しない(医者にかからない)ことが自慢できるまち ✓ バランス(年齢、性別)がとれた社会づくり ✓ 人は人ではなく、みんな家族という和の心で元気で暮らしていきたい ✓ どの世代も交流のある、笑顔のあふれるまちになってほしい ✓ 医療が充実したまち(都市からの医療機関・研究機関誘致)
	70 歳以上	✓ 安心して暮らせる町を ✓ 隣近所で声かけ、見守りのできる町 ✓ 人と人とのつながりを大切に自助・共助・公助による地域づくり ✓ 医療体制を更に整備。日本一子育て支援のまち ✓ 地域間格差のないまちないまち ✓ 子育てしやすい学童保育等の増。子供達の学力向上 ✓ 益田で育った若者が将来益田で働き続け還元すること
3. ご自身ができること	✓ 人や家族に迷惑をかけず、身のまわりの事が出来るように日頃から心がけたい ✓ 十分な支援を受けるためには、人口減少をゆるやかにすることだと思うので、(増加は難しい)魅力ある街になるような事業等があれば、協力していきたい ✓ 学校外での教育機会を増やすこと ✓ 自分の利益だけでなく、それぞれの立場を考えられるよう努める ✓ 地元で生活できることがいかに幸せかを周囲に語る。健康な生活に心がける。 ✓ 地域にとけ込み子供達を見まもりたい ✓ 心も身体も日々健康に過ごす ✓ 食生活と運動 ✓ 健康でいること。子どもをつくること ✓ 医療費がかからないよう健康に気を付けています ✓ 心身の健康保持と地域の人との交わりを多く持つこと。又、お世話をしながら共に暮らすこと ✓ 子供に益田で子育ても老後生活も可能なことを教える ✓ 子供達の見守りなど ✓ 子供や食を共にする家族の食生活から健康について気をつけて実践実行していく ✓ 自分自身の学力と健康力を上げる ✓ 食生活に配慮し体に無理をせず ✓ 食事はよくかんで、味わって、食べて、ありがたく楽しく食べる ✓ 食生活に注意する ✓ 自身の健康にも気をつけながら、まわりから SOS を出されたらすぐできる対応をすること ✓ まわりの高齢者に声をかける ✓ 日頃の食生活に気を付けたり、毎日運動することで健康に過ごす ✓ 「キョウイク」と「キョウヨウ」で毎日目的を持って行動すること ✓ 地域で(小さい)顔を合わせて簡単な運動ができるよう ✓ 今後高齢になっていくので、制度を理解し、健康に過ごせる環境を整えていく ✓ 健康に留意し、人としての心のあり様を大切にして過ごしていく ✓ 肥満の解消。病気などを誘発することをさけるため。日常生活を見直し、運動するなどし、健康増進に努める	

	✓ 仲間と共に体を動かしたり、笑いあって楽しい時間を持つ ✓ 健康管理に気をつけ、子どもとの時間を大切に過ごす ✓ 放課後の子どもの居場所づくり ✓ 病気にならないように気をつける ✓ 規則正しい生活を行う ✓ 中高生との関わりを持ち、このまちについて対話する ✓ 仕事として、教育魅力化をしていく ✓ 社会教育魅力を発信する ✓ 子育てや子どもの活動への積極的な参加 ✓ 近所の方たちと交流する、日頃の食生活に気を付ける ✓ 元気に動けて、健康維持に努める ✓ 心身共に充実した毎日を通す ✓ 職場体験の受入れ等、教育への協力 ✓ 健康診断を積極的に受ける ✓ SDGs を少しでも意識しながら生活していくこと ✓ 我々の財産は何かをもっと深く知り、深く考え、発信していくこと ✓ よさを発信して、多くの人によさを伝える ✓ 体と心の意欲が続く限り、仕事を続けて行く ✓ 人それぞれに合ったペースで仕事ができる風土づくり ✓ 働きやすい環境づくり(ソフト面で) ✓ 持続できる仕事環境 若い人も古い人もいる ✓ 子供に益田で生活できることを教える ✓ 魅力ある職場づくり 若い世代が興味を持てる職場作り ✓ 社内でのコミュニケーションを活性化させ、職場環境を改善する ✓ 高年齢で仕事ということにはならないが、出来る範囲内で”はたを楽”(ハタラク)にしたいです。 ✓ 人本経営をもっとうに雇用を守り、納税を継続し、職員ひとりひとりが輝ける職場環境を目指す ✓ 地域の為に仕事(社業)を通じて出来る事をとりくむ。雇用の創出 ✓ 社内の雰囲気良くし、まちの雰囲気を良くできるようなひとを育てること ✓ 社内でのコミュニケーションを活性化させ、職場環境を改善する ✓ 思いを持っている人たちが”益田には何もない”と思っている人につなぐこと ✓ 多様な生き方がある。あっていいんだということを伝えていく ✓ 自社の社員の育成。自分自身が挑戦し続けること
--	--

④ 自然・環境・歴史、⑤ まちづくり・都市基盤

項目	年齢	回等内容
1. 大事にしたい 良いところ（も の）、未来に残した い良いところ（も の）	20 歳未満	✓ —
	20～29 歳	✓ まちなみ ✓ 高津の専門店通り・萩・石見空港 ✓ 全てをプロがするのではなく、手づくり感溢れるまち ✓ 街路樹、道路整備されているところ ✓ グラントワ ✓ 町並みのよさ ✓ 古き良き時代の風情ある街並み ✓ 水質のきれいな高津川があるところ ✓ 種・二条・美都・匹見地区など、ホテルの名所が多くあること ✓ 石州瓦の瓦屋根の景色
	30～39 歳	✓ 桜並木、駅前の飲食街(ちょっとレトロで騒然とした感じ) ✓ 整備された”グラントワ通り”など素晴らしい景観と歴史がある ✓ 市道など草がぼうぼうになっている現状(きれいにして歩きやすい町づくり) ✓ 新しくできたホテルを廃虚にさせない努力 ✓ ゴミの少ない街 ✓ ゆめタウン・イオンがあり、買物に不便しない ✓ 山口県、広島県を繋ぐところに位置している ✓ 日本海(海岸線) ✓ きれいなまち(ごみ等が比較的少ない) ✓ 石見空港がある ✓ 川、海、山と身近にすべてを感じることで益田市はとても貴重だと思う ✓ 神楽など、益田ならではの伝統芸能を大事にし、未来に残していきたい ✓ 豊かな自然と石見神楽。 ✓ 土木遺産である高角橋、萩・石見空港 ✓ 広い土地と、清流高津川 ✓ 交通インフラの整備 ✓ きれいな高津川 ✓ 中世の遺跡や歴史資料 ✓ 自然・環境・歴史のいずれも超一級品と言える ✓ おおきな自然公園があること ✓ JR(益田駅) ✓ 地域づくり ✓ 観光施設 ✓ 萩・石見空港があるところ
	40～49 歳	✓ 駅前の道路はとてもきれいに整備されていて気持ちが良いです ✓ 歴史的建造物(医光など)がたくさんある所 ✓ 残されている自然環境の保全、インフラはほどほどに ✓ (海岸をキレイにのこしたい。)道路の整備で浜田道などへの交通の移動など安全面を考えた道の整備など ✓ 中山間地域でも人が居住している ✓ 花壇や海岸の美しさ。ゴミを捨てないようにしたい ✓ 中世遺跡、美しい海岸線、アユの獲れる河川 ✓ 田舎の原風景 ✓ 住民による地域清掃活動 ✓ 萩・石見空港 ✓ 日本遺産認定を生かした歴史のまちづくり ✓ 山があり海があり、災害が少ないところ ✓ 高津川・日本海 ✓ 雪舟さん、人麿さんっていうとこ ✓ 市街地でもホテルが見られること

		✓ 誰かが掃除している ✓ 商業施設の充実 ✓ どこよりも豊かな自然、中世など歴史がある ✓ 全国でも有数の水質のきれいな高津川があるところ ✓ 石見神楽 ✓ 手つかずの自然 ✓ 昔ながらの農村景観 ✓ ちよどよい田舎 ✓ きれいな山里から流れる清流高津川とその景観 ✓ 過ごしやすい気候 ✓ 街並み ✓ 山陰道整備と空港を活かしたまちづくり ✓ 比礼振山から見る市街地の風景 ✓ 海山川の美しい自然に囲まれているところ ✓ 適度に分散された都市基盤 ✓ きれいな里山が整備されている ✓ 地域の清掃活動の継続できていること ✓ 災害が少ない
	50～59 歳	✓ 公園を本当に市民が使えるようにする ✓ 萩、石見空港は東京とのつながりを保つため必要。美都温泉は地域の拠点。心身の健康のためにも絶対に必要です ✓ グラントワ通り、万葉公園、萩・石見空港、ばん竜湖 ✓ 告知放送端末やケーブル TV のような情報伝達 ✓ 市民の生活基盤 ✓ 季節ごとに見られる自然の風景 ✓ 山間部の集落にも安心して住める町づくり ✓ まちづくりの方向は良いところなし！！合併後の都市計画、農村環境整備計画の新たな見直しが必要 ✓ そこかしこに残されている手つかずの日本の原風景 ✓ 中世の遺跡や益田氏古文書など、全国に誇れる歴史遺産 ✓ 全国でも有数の水質のきれいな高津川があるところ ✓ 伝統的な神楽を伝えていくところ ✓ 整備された公園など ✓ 誰もが、不自由しない交通網の整備 ✓ 人間の体の 70～80%は水できていると学びました ✓ 水の大切さ、清さをのこしたい ✓ ある日川に沿ってバスに乗っていたらちよど鳥も川に沿って飛んでいて長い間鳥が飛んでいる姿を見ることが出来ました ✓ 中世関連施設群 ✓ 自然豊かで食べ物がおいしいこと ✓ 緑と川、海 ✓ 生活のある風景 ✓ 水質のきれいな高津川 ✓ 山・川・海がそろっており、それぞれに豊かな自然がバランスよくある ✓ 赤瓦の景観 ✓ 古く情緒ある街並み ✓ JRやバスなど ✓ 地域公共交通 ✓ 文化財等 ✓ 地震災害の発生率の低いことと治安の良さ ✓ きれいな街並み ✓ 生活バスが運行されているところ ✓ 道路整備 ✓ これまで大切にされてきた自然風土 ✓ 豊かな自然、観光資源、特産品 ✓ 中世など文化遺産 ✓ 山・川・海がそろっている豊かな自然

		✓ 自然体験の充実
	60～69 歳	✓ 雪舟庭園や医光寺のしだれ桜等、歴史的文化財を残して欲しい ✓ 桜、ホタル、の道や川 ✓ 益田観 ✓ 魚の泳ぐ川。動物が暮らす山 ✓ 萩、石見空港(首都圏を結ぶ唯一の高速交通機関) ✓ 公民館単位のコミュニティ ✓ 食事処、スナック等の賑い ✓ 沢山あって困る。各地域にある大切なものを大事にして未来につなげたい ✓ 治安がいいところ ✓ 石見神楽 ✓ 高津川 ✓ 柿本人麿
	70 歳以上	✓ 下水道事業の完了 ✓ 歴史的遺産や名勝が豊富にあるところ ✓ 十分とは云えないが現環境の美化活動は大切に ✓ 50年経っても変わらない美しい心うたれる自然や景色が見られること ✓ 自然を生かした町づくり ✓ 地域特性に応じた安全で快適なまち ✓ 暮らしやすいまち(道路整備を含めた都市基盤整備)
2. 10 年後の益田市の姿（どんなまちになってほしいか）	20 歳未満	✓ —
	20～29 歳	✓ 公共交通がより低額になり、マイカーからの切り替えがすすむ ✓ 古きよきまちなみも保存されている ✓ チェーンが少ない分、自分の手でつくられたものがたくさんある ✓ 公共交通機関が維持されているまち ✓ 下水道が整備されて、水洗トイレが完備すること→ライフラインが整うこと ✓ バスの本数がふえている ✓ ホタルを見られるような環境が残っていること
	30～39 歳	✓ 生活には困らない程度の店や物があり、広島や福岡等(大きな病院があるところ)に行くのに道路が整備されているようになってほしい ✓ 安全安心利便性の整ったまち ✓ 都市と自然の共存。高津川・益田川の遊歩道の整備 ✓ 学力向上の為に図書館改築、運動能力向上の為に広場(ストリートバスケ等)の設置 ✓ 交通アクセスを含め、生活しやすいインフラの整備 ✓ 山陰自動車道や萩・石見空港をきちんとひとが活かしているまち ✓ 他に買物に行かなくても、買物しやすい町づくり ✓ ケンタッキーやマクドナルドをなくさない ✓ 安全・安心な生活を守ることのできる都市整備 ✓ 集落崩壊が無く、公平な行政サービスが受けられること ✓ 今以上にきれいな海岸線を維持 ✓ 中山間地などの交通難民などについても見捨てずに住民が安心して暮らせるまちづくりを ✓ お年寄りに寄り添うまち ✓ 人の手が入った自然。その自然を求めて県外から人がくるまち ✓ 災害に強いまち(地震・水害等) ✓ 新たな景観を創出し、観光を取り入れた地域活性化を図ってほしい。また、災害が比較的少ない地域ということを活かし、企業誘致にも力を入れてほしい ✓ 伝統芸能の継続・発展している姿 ✓ 山間部に住んでいる方や免許返納などで自動車の運転ができなくなったお年寄り等も安心して暮らせるインフラ整備 ✓ 益田駅南北連絡橋の計画実施

		✓ インフラを早急に整え、益田市外のひとを呼び込み、地域活性化を図ってほしい。また、ショッピングモール的な大規模な娯楽施設が必要だと思う ✓ 災害に強いまち ✓ 豊かな自然が残っていること ✓ 現在の益田市は、自然・環境・歴史のいずれも超一級品であるが、これを有効に活かしていない。これらを有効に活かせるまち ✓ 生活と自然の共生 ✓ 益田の自然の魅力を住民自らが認識し、守り活かす取り組みが定着していること ✓ 公共交通機関などの移動手段の利便性が向上し、誰もが暮らしやすいまち ✓ 自然や歴史的景観と近代的な快適さが両立するまち。そのために自然や歴史的景観を有効に活かしたまちづくりを進めるまち ✓ コンパクトシティ ✓ 地域独自の交通弱者対策による地域の活性化 ✓ 観光客が迷うことなく観光施設に行ける丁寧な案内表示
	40～49 歳	✓ 公共交通機関の利便性があまり良くないので向上して欲しい(益田駅の階段は、高齢者は大変だと思います) ✓ 山陰道が益田まで開通して、観光客がたくさんきてほしい ✓ 移動手段の利便性が良くなり、又事故のない交通への取り組み意識をもつこと ✓ 公共機関の責任で中山間地域の交通を守る ✓ 下関、浜田港、神戸港と石見空港を高規格道路で連絡し、西日本の物流の中心エリアにする ✓ 市街地にはショッピングモールがあり、県外へ行かなくても益田で完結できる充実した店ぞろえ ✓ 高齢者が利用しやすい公共交通機関、空港の維持 ✓ 山陰道の早期開通による流通・交流の向上と地域産業の発展 ✓ 市街地の人たちが不便なく生活できるようになってほしい ✓ 高齢者が生活しやすいまち(利便性の高い公共交通機関・行政サービス)・豊かな自然をいかしたコミュニティ施設のあるまち ✓ 広大な面積でも20地区全ての地域で暮らし続けられる環境(交通・買物も含む)となっていること ✓ 名所をそのまま残して欲しい ✓ 自然の環境が整備されている ✓ アスレチック、映画館、ショッピングモールなど、若者が定住しても、楽しいと思う娯楽施設を、思い切って増やすと、益田市内でお金も落ちる ✓ 地元の人が当たり前と思っている価値が域外に広まる ✓ 移動手段の利便性になるべく低下せず、または向上し、生活圏域が広くなり共生や福祉、民間のサービスが広く受益できる ✓ 足のないかたへの配慮 ✓ 豊かな自然、歴史、空港などを活かしたまちづくりが進み、観光客など多くの人が訪れるまちになってほしい ✓ いまある景色が変わらずあること ✓ 自然環境に配慮した開発により、市民が自然環境を享受できる ✓ 山陰道と空港を活かしたまちづくりを進め、多く人が往来でき、人物が動くまちになってほしい ✓ 山陰道の延伸による、ファクトリーパークの企業誘致の進展 ✓ 街並みや景観が整備されている ✓ 公共機能の集約化
	50～59 歳	✓ 移動手段の多様性 ✓ 利便性の向上(全体的に)石見空港が発展している(増便) ✓ 道路は無理して新たに作らなくても、維持管理の方に力を入れてほしい ✓ サイクルツーリズムのまちとして有名になればいい ✓ 地域間格差のないまち

		✓ 道路が発達し、県東部はもちろん、九州、四国方面にも移動が出来るようになること ✓ 自然を生かし、観光地として盛んになってほしい ✓ 病院や買い物等に気軽に行ける交通手段が有り、物流も活発で、防災拠点整備も充実している ✓ 緑豊かな自然観察が身近に移動ができるように高速道路の整備。道の駅を中心に賑わいのあるまちになってほしい ✓ 道路網が充実し、地域を繋ぐ要衝として発展している ✓ 災害に強いまちづくりと防災に備えたまちになってほしい ✓ 自然と生活の共生がバランスよくとられている環境先進市 ✓ 中世のまちとして、益田歴史民俗資料館を拠点とした歴史のまちづくり ✓ 高齢者がいつまでも元気で動いたり、買い物に安心して行ける事 ✓ 自然を活かした、人口交流の拡大してほしい ✓ 誰もが、不自由なく生活できる環境 ✓ 原風景が残る街 ✓ 豊かな自然と、人が共存できる益田市 ✓ 今ある公共交通機関は残っていてほしい ✓ 高齢者が免許を自主返納しやすい環境になること ✓ 今と変わらない姿 ✓ 地域住民主体となった地域ごとのまちづくり ✓ 景観をこわさず利便性が向上していること ✓ 住民が利用しやすいまち ✓ 生活の拠点を変えることなく暮らせるまち ✓ 現在の人口水準の維持 ✓ ネットや電話予約による買い物ができ、また異動販売、市などが地域で開催され、安心して、楽しみながら買い物ができる。 ✓ できないことは遠慮なく、気軽に手伝ってほしいと声を出せる仕組みがある
	60～69 歳	✓ 高齢者が安心して生活が出来る、移動手段の利便性の向上を望む ✓ 生活基盤の買物、医療、金融が簡易に出来ること ✓ デマンド交通の導入及び普及 ✓ 買い物が出来る事、防災に強い街 ✓ 新益田駅 益田・新山口間1時間でつなぐこと ✓ お年寄りがいつでも安価に病院や買い物に行ける行政。空のバスはいらない ✓ どこに住んでも医療・福祉・教育が受けられる支え合うシステムの整ったまち ✓ キレイな益田市 ✓ 道路の整備がされ、流通が広がること ✓ 電車やバスの利用数を増やし、道路などが、整っていてほしい ✓ 空気の美味しい地域にしていきたい ✓ 石見神楽がいまよりも、もっと世間に広まっていること
	70 歳以上	✓ きれいで暮らしやすい町 ✓ 安心、安全な場所としての市政づくりを希望 ✓ 地域拠点(公民館単位)での生活機能の整備充実がされるべき ✓ 広範囲の移動をしなくても、日常生活に困らない店舗やシステムが出来ていくこと ✓ 高齢者の移動手段の利便性の向上が進んだまち。駅前商店街の賑い ✓ 過疎地でも自宅まで通院、買い物の送迎があるまち(昼間は市が助成し、タクシーを活用) ✓ 身体にハンディのある人でも安心して歩いたり、自転車に乗るなどして自立生活できるまち ✓ 辺地でも交通手段が保障されている
3. ご自身ができ	✓ 生活の中で災害が起きる場所を熟知しておく ✓ 里山の環境を保つための保全活動	

ること	✓ 漂着ゴミの回収を継続すること ✓ この地の自然に感謝。この地の歴史をもっと学ぶ。 ✓ 地域環境整備に微力ながら協力できること ✓ 災害は自助、共助を徹底する ✓ 今後大きな経験したことのないような災害がおこることや、南海トラフ地震など自然のこわさを体験するであろうことをしっかり想定して、普通より意識をもって家族で防災について考え話す ✓ 自然の大切さを実感し、その実感を維持し、伝えること ✓ 家庭の台所、風呂の排水からゴミを出すのをへらすように努めている ✓ 中世のたたずまい残る史跡(雪舟庭ほか寺社 etc)でのお茶(薄茶)接待歴史ガイド ✓ ゴミの減量化、地産地消の推進 ✓ 過去の災害やハザードマップ等から地域の防災を考えながら、自然も汚さないようにする ✓ 自分に出来ることから環境を守りたい(汚水処理 etc) ✓ 地域の自然や歴史について、考える機会をつくる ✓ まちの良いところ(自然、環境)を子供につたえていく ✓ 水害などの情報を知る ✓ 今ある益田の自然や歴史の価値や大切さを次世代の子供達に伝えていく ✓ 環境意識をもつこと。顕彰会活動 ✓ 子供達に住んでいる街の歴史、自然にふれさせること ✓ 美しい自然の魅力をつたえる。発信 ✓ ゴミの分別・防災意識の向上 ✓ 石州瓦の魅力を発信していく ✓ ゴミのポイ捨てをしない、美化・清掃活動への積極的な参加 ✓ 環境に配慮した生活、事業運営(SDGsの推進) ✓ 益田の歴史・文化を語り継いで、観光案内に通じるように勉強する ✓ 里山景観を守る ✓ 様々な場面で自然、歴史等をPRしていくこと ✓ 子供神楽組織等の後継者の育成 ✓ 益田市の新たなランドデザインを描くこと ✓ 山林整備のあり方を考察し、必要性を発信する ✓ 魅力ある街が廃れないよう、街(益田)でお金を使うようにし、事業の発展を通じて市外からのお客様を呼び込みたい ✓ 道路・川の維持管理は自治会・有志で行っているが引き続きやって行きたい ✓ 清掃ボランティアへの参加 空港の利用 ✓ 道路や公園の清掃、地域施設の維持管理など地域一体となって行う ✓ 高速交通網を利用してもらい、益田市に来てもらう取組を考え、行動する ✓ 公共施設の有効活用 ✓ すすんで石見交通を利用する ✓ 空き家の再利用方法をみんなで考える ✓ 益田の自慢できるところをきれいに保つ活動をしてみたい ✓ まずは、地域の基盤づくり ✓ 中山間地域への支援は行政として必須！！様々な地域の維持管理には既に多く関わっている。これ以上何を求めるか？ ✓ 道路整備要望活動への参加 ✓ ゴミをひらうではなく、捨てない。袋を持ち歩くぐらいに。美化に努めたいと思う ✓ 農業への獣害予防策として所有する土地の保全管理(草刈、不要な樹木の伐採)
------------	---

問 4 益田市の将来像（キャッチフレーズ）

頻出ワード	✓ 自然、輝く、安心、益田、思いやり、助け合い、笑顔、つながる
✓ 一人ひとりが生き生きと輝くまち ✓ 老若男女すべてがいきいき輝くまち ✓ 人に優しく、あんしん益田 ✓ 君を「ますだ」が待っている！あなたが「ますだ」に生きている！ ✓ つなげる輪！つながる和！あなたを益田が待っている！ ✓ 優しい心で大切に生きられる。生きたいまち、益田 ✓ 「地球に愛されるまち」、益田 ✓ 幸福度 No.1のまち、益田 ✓ 支え合い、助け合い、みんなが笑顔なまち、益田 ✓ 自然とともに、笑顔溢れるやさしい益田 ✓ 愛楽舞(あいラブ)益田、永遠、益田！ ✓ 来て良し、見て良し、住んで良し！みんな笑顔の幸せ益田	